

---

『なぜ部下とうまくいかないのか：自他変革の発達心理学』  
第二回オンライン読書会（2016/10/1&10/2）に向けた課題

ファシリテーター：加藤洋平

---

なぜ 組織も人も変わることができる！  
*Why is it so hard to communicate with our team members*

部下とうまく  
「自他変革」の発達心理学  
いかないのか

加藤洋平 Yohhei Kato

あるワインバーでの偶然の出会いによって、人間関係に悩む気弱な課長が部下育成と組織マネジメントに自信を持つようになったビジネスストーリー

自分と部下が  
成長していく  
対話力と行動力

(英治出版)  
『なぜ人と組織は変わらないのか』  
著者 ロバート・キーガン氏 推薦!!

日本能率協会マネジメントセンター

設問 1：ロバート・キーガンの発達理論と世間でもよく知られているエリック・エリクソンの発達理論の間には、どのような共通点や相違点がありますか？

設問 2：キーガンの発達理論を始め、成人発達理論の根幹には「人間は生涯にわたって成長を遂げていく生き物である」という考え方があります。私たちが生涯にわたって成長していくために最も重要なこと（必要なこと）を一つ選び、なぜそれが生涯にわたる成長にとって重要なのか（必要なのか）を教えてください。

設問 3：個人の発達や組織の発達に関して、キーガンの発達理論を用いて見えない現象はどのようなものであり、それはその他のどのような理論によって補完することができるでしょうか？

設問 4:p189の11-13行目にある「自然の移り変わりを愛でるような心のゆとり」について、ここ数年間を振り返り、季節の移り変わりを愛でたのはどのような時でしょうか？また、季節の移り変わりと言意識の発達の類似性や関係性について教えてください。

設問 5：実生活の現場で、本書の枠組みをどのように活用していますか？あるいは、どのように活用していく予定でしょうか？

設問 6：本書の内容に基づいて、自分が面白いと思う設問を一つ作成してください。

当日の読書会でお会いできることを楽しみにしております！